



**奈良ホテルが明治後期に長崎ホテルから継承していた金・銀器類一式を長崎市へ寄贈！！！！**

**カトラリーが長崎市と奈良市の架け橋に**

さる 2013 年 12 月 27 日に奈良ホテル(奈良市高畑町 1096 番地 代表取締役社長 中村 仁)にてニュースリリースしましたが、1898 年創業の極東随一と言われた長崎ホテルで使われていたと思われる金・銀器類を約 1600 点奈良ホテルが承継していたことがわかりました。その時期は長崎ホテルが閉館した 1908 年か奈良ホテルが創業した 1909 年頃でなかったかと思われます。

長崎ホテルは、トーマス・グラバーやフレデリック・リンガーらイギリス人投資家たちによって創業された豪華ホテルで、建築家ジョサイア・コンドルが設計をしています。コンドルは奈良ホテルを設計した辰野金吾の工部大学校(後の東京大学建築科)時代の師で強いご縁を感じる次第です。

そもそも奈良ホテル内で発見されたスプーンの NHL (Nagasaki Hotel Limited)の刻印から調査が始まりました。NH (Nara Hotel)と同じ頭文字という偶然、点と点が一本の線に繋がったわけです。

昨年 11 月に長崎市で開催された「長崎ホテルで使われていた金・銀器を使っての一夜限りの里帰り」という企画にも協力させていただき、その折に「グラバー園に飾っていただけるなら」ということで 1 セットの寄贈を申し出て参りました。そしてこのたび先方のご準備が整われましたので 6 月 3 日(水)に長崎市役所におきまして寄贈式典が行われることになりお招きをいただいております。

今後は長崎ホテルゆかりのグラバー園内等に於いて展示していただき、広く長崎市民の皆様をはじめ多くの方々にご覧いただく等有意義に活用していただければと希望しています。

この件に関するお問い合わせは  
奈良ホテル 営業部 辻 利幸まで  
0742-26-3300 (代表)